

# 立会だより

第494号令和3年4月6日  
品川区立立会小学校  
校長 滝渕 正史  
電話 3474-3424

どうぞよろしくお願いいたします

校長 滝渕 正史

このたびご縁をいただき、この歴史ある立会小学校に校長として着任いたしました、滝渕正史（たきぶちまさし）と申します。保護者の皆様、地域の皆様、立会小にゆかりのあるすべての皆様、どうぞよろしくお願いいたします。私の前任校は、同じ区内の第二延山小学校で、5年間校長を務めておりました。一日も早く、この立会小学校や大井の地のことを深く把握し、学校運営に力を注ぎたいと思っております。

本校に着任して、最初に目に飛び込んできたのは、やはり校庭のケヤキとタブノキでした。ケヤキは、ちょうど新しい葉が芽吹き始めたところで、新緑が目まぶしいですね。この3本の木は、本校のシンボルツリーだと聞いておりますが、本当に立派な木で、存在感を感じます。その他にも、「木々の多い校庭だなあ」と目を転じてみると、大きなイチョウに桜、アケビや藤の棚、夏ミカンなどの柑橘系木など、季節ごとにいろいろな変化を見せてくれるたくさんの木々があることが分かりました。都会の中で、自然が豊かな学校です。

子どもたちとは、昨日4月5日の前日準備で活躍してくれた新6年生が、初めての出会いでした。初めて見かける顔にもしっかりと挨拶をしてくれる児童が多いのが印象的で、てきぱきと気持ちよく仕事をしていていました。「さすが立会小学校の6年生だ」と感じさせる立ち居振る舞いで、これからの1年間の様々な場面での活躍がとても楽しみになりました。1年生から5年生とは、本日の始業式が初めての出会いになります。校長として、すべての子どもたちにしっかり目を配り、一人一人が、生き生きと充実した小学校生活の実現を目指さなければならないと、改めて気を引き締めているところです。

コロナウイルスの感染状況が、引き続き予断を許さない状況になりつつある中で、学校教育における今年度の大きな課題は、昨年度に引き続き、児童（もちろん教職員も）の感染防止の徹底であると同時に、充実した学校の教育活動の実現と、その中における児童一人一人の学びの充実（自己実現）であると考えています。一見すると相反して見えるこの二つのことをどう融合させていくのか、さらに、アフターコロナの学校教育の有り様をどう構築していくのかなど、取り組むべきことは多岐にわたります。本校の中では新参者の校長ではありますが、一日も早く本校の強みや課題を把握し、さらにより良い学校となっていけるように力を注ぎたいと思います。

小学校は、児童が、学び（内容な学び方など）の基本や自分らしい生き方などの行動様式などを、6年間かけて模索しながら身に付けていく場所です。正解を見つけるだけではなく、失敗も大いに許容されながら試行錯誤をしていく場所です。様々な人と関わる中で、人間関係作りの基礎も身に付けていきます。そんな中で、学びに対する意欲や人に対する優しさ、心の強さなど、これから先の人生の基礎となる様々な力を身に付けていくのだと考えています。

すべての子どもたちが、「学校が楽しい」「授業が面白い」「友達と活動するのがうれしい」「今度の〇〇（例えば学校行事など）が楽しみ」などと、いろいろな場面で学校の教育活動に価値を持てるような教育活動を展開してまいりたいと思います。場面によっては、保護者や地域の皆様からお力をお借りすることもあるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。